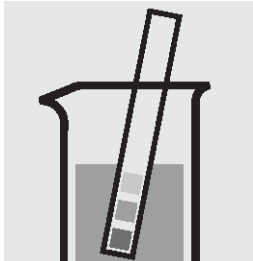
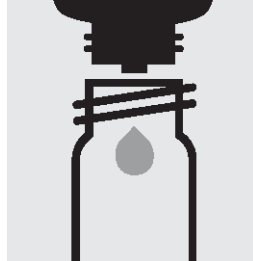


00860 ・ モリブデン(ブロモピロガロールレット法)

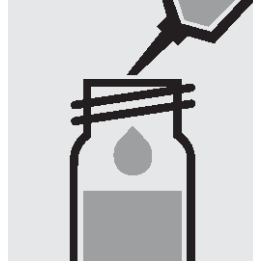
測定範囲:	0.02~1.00 mg/l Mo
	0.02~1.67 mg/l MoO ₄
	0.04~2.15 mg/l Na ₂ MoO ₄
	結果は mmol/l 単位でも表示できます。



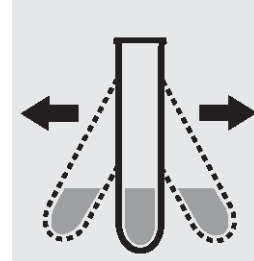
1. 試料の pH が pH 1~10 であるかチェックします。必要な場合、水酸化ナトリウム水溶液または硫酸を 1 滴ずつ加えて、pH を調整します。



2. 反応セルに試薬 Mo-1K を 2 滴加えて攪拌します。



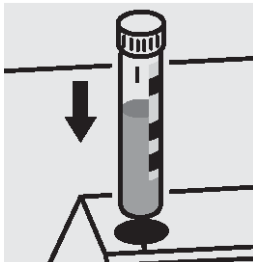
3. ピペットで 10ml の試料を加え、ねじぶたでセルを閉じて攪拌します。



4. セルをよく振とうして、固体物を溶かします。



5. 反応時間: 2 分間



6. 各セルをセルコンパートメントにセットし、測定します。セルのマークを光度計のマークに合わせます。

品質保証:

測定システムを点検(試薬、測定装置、およびハンドリング)するため、モリブデン標準液を使用できます(「標準液」のセクションを参照)。

1. 測定原理

陽イオン性界面活性剤存在下において、モリブデン(VI)イオンは、プロモピロガロールレッドと反応して青色の錯体を形成します。これを光学的に測定します。

2. アプリケーション

サンプル:

液体肥料、

処理溶液、ボイラー用水、ボイラー供給用水、排水

本法は、海水には適しません。

3. 妨害物質の影響

モリブデン 0 mg/L および 0.5 mg/L Mo をそれぞれ含んだ標準試料に対する妨害物質の影響を確認しました。妨害物質が、表中の濃度以下であれば測定に影響はしません。

妨害物質濃度 (mg/L または%)

Cr ₂ O ₇ ²⁻	25	NO ₂ ⁻	100	NaCl	20%
Fe ³⁺	25			NaNO ₃	5%
Hg ²⁺	25			Na ₂ SO ₄	20%

4. 試薬の保存条件

キットに含まれる試薬類は密閉状態で、以下の条件で保存された場合、容器に記載された有効期限まで安定してご使用頂けます。

保管温度: +15~+25 °C

5. 使用する試薬・器具

試薬(測定回数 25 回) 品番 M1008600001

内訳) 試薬 Mo-1K

反応用丸セル(25 本) 品番 M1147240001

6. 精度管理

測定結果は測定器、操作法の精度管理がなされていることを前提にして、正式に認められるものです(DWA A 704)。

光度測定系(試薬、測定器、操作法)および作業条件の確認、サンプル由来の影響(サンプル中のマトリックスの影響)の確認には、希釈して調製した 0.5 mg/L Mo モリブデン標準液をご利用することが可能です(濃度既知の標準液を添加し測定を行うことで判定出来ます(回収率による判定))。

データ

製品の品質管理は、ISO 8466-1 および DIN 38402 A51 に準拠して、下記のようにコントロールされています。

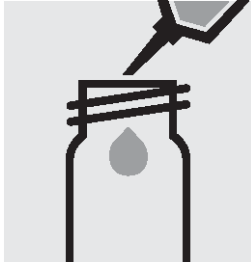
標準偏差 (mg/L Mo)	± 0.011
CV(変動係数) (%)	± 1.9
信頼区間 (mg/L Mo)	± 0.03
ロット数	7
感度 (0.010 A に相当する mg/L Mo)	0.01
測定精度 (mg/L Mo)	最大 ± 0.02

7. ご注意

- 試薬ビンは、ご使用後直ちに蓋をしてください。
- 幼児の手の届かないところおよび食品から離れたところに保管してください。
- 肌や目に試薬が触れた場合には、直ちに流水で試薬を良く洗い流した後、医療機関に指示を仰いでください。
- 未使用の試薬あるいは測定後の溶液の廃棄につきましては、各都道府県・地域の条例に従って行ってください。

19252 ・ モリブデン(メルカプト酢酸法)

測定範囲:	0.5~45.0mg/l Mo	20mm セル
	0.8~75.0 mg/l MoO ₄	20mm セル
	1.1~96.6 mg/l Na ₂ MoO ₄	20mm セル



1. ピペットで 10 ml の試料を空の丸セル(空のセル、CAT 番号 250621)に取ります。



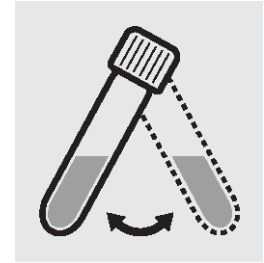
2. 試薬 Molybdenum HR11 包を加え、ねじぶたで閉じて、固体物を溶かします。



3. 試薬 Molybdenum HR21 包を加え、ねじぶたで閉じて、固体物を溶かします。



4. 試薬 Molybdenum HR31 包を加えて、ねじぶたで閉じます。



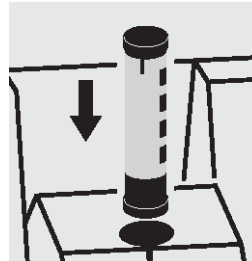
5. セルを振り回して、固体物を溶かします。



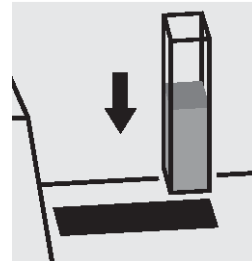
6. 反応時間:5 分間、直ちに測定します。



7. 溶液をセルに移します。



8. AutoSelector で測定法を選択します。



9. 各セルをセルコンパートメントにセットし、測定します。

品質保証:

測定システムを点検(試薬、測定装置、およびハンドリング)するため、モリブデン標準液を使用できます(「標準液」のセクションを参照)。

1. 測定原理

モリブデン(VI)イオンは、メルカプト酢酸(チオグリコール酸)と反応して黄色の錯体を形成し、これを光学的に測定します。

2. アプリケーション

サンプル:

ボイラー用水、ボイラー給水用水、冷却水、排水

3. 妨害物質の影響

妨害物質が、表中の濃度以下であれば測定に影響はしません。

妨害物質濃度(mg/L)

Al ³⁺	50	Fe	50
Cr	1000	Ni ²⁺	50
Cu ²⁺	10	NO ₂ ⁻	0 ¹⁾

¹⁾ 亜硝酸イオンが含まれるサンプルの場合は、亜硝酸イオンを除去してください。

4. 試薬の保存条件

キットに含まれる試薬類は密閉状態で、以下の条件で保存された場合、容器に記載された有効期限まで安定してご使用頂けます。

保管温度: +15~+25 °C

5. 使用する試薬・器具

試薬(測定回数 100回) 品番 M1192520001

内訳) 試薬 Molybdenum HR1

試薬 Molybdenum HR2

試薬 Molybdenum HR3

角セル 20mm(2個入り、ガラス製) 品番 M1149470001

6. 精度管理

測定結果は測定器、操作法の精度管理がなされていることを前提にして、正式に認められるものです(DWA A 704)。

光度測定系(試薬、測定器、操作法)および作業条件の確認、サンプル由来の影響(サンプル中のマトリックスの影響)の確認には、希釈して調製した 25.0 mg/L モリブデン標準液をご利用することが可能です(濃度既知の標準液を添加し測定を行うことで判定出来ます(回収率による判定))。

データ

製品の品質管理は、ISO 8466-1 および DIN 38402 A51 に準拠して、下記のようにコントロールされています。

標準偏差(mg/L Mo)	± 0.15
CV(変動係数)(%)	± 0.80
信頼区間(mg/L Mo)	± 0.3
ロット数	1
感度(0.010 A に相当する mg/L Mo)	0.4
測定精度(mg/L Mo)	最大 ± 1.0

7. ご注意

- 未使用の試薬あるいは測定後の溶液の廃棄につきましては、各都道府県・地域の条例に従って行ってください。
特に試薬 Molybdenum HR3 および試薬 Molybdenum HR3 を含んだサンプル溶液は決してそのまま廃水に流さないでください。
- 試薬ビンは、ご使用后直ちに蓋をしてください。
- 幼児の手の届かないところおよび食品から離れたところに保管してください。
- 肌や目に試薬が触れた場合には、直ちに流水で試薬を良く洗い流した後、医療機関に指示を仰いでください。